



母校に寄せる想い

去る二月十六日(日)に、本校の体育館において閉校式と学習発表会を開催しました。当日は、あいにくの雨天で風も強かったのですが、中村八代市長様、北岡教育長様をはじめ、五十人を超えるご来賓の皆様と保護者とそのご家族、そして地域の皆様のご出席をいただきました。ご出席いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

式典の中で、「校旗収納」を行いました。写真にありますように、校旗を畳んで、子供たちから校長へそして中村市長へとお返しする儀式です。「胸にこみあげるものがありました。」「涙を浮かべておられる方もいらっしゃいました。」「とご覧になった方から後日お話を伺い、あらためて寂しさと重みを感じました。



心が育つ場所

閉校式後の休憩の時間に、子供たちが手漉き和紙づくりでお世話になった徳澄さんから嬉しいお話を伺いました。和紙を作っている際に、徳澄さんの奥様の赤くなっている手を見た子供が「痛そうですね。」「と声をかけたのだそうです。奥様はそのことをとても喜んでくださったそうです。」「二十七年間子供たちに和紙作りを教えてきて、そんな言葉を言われたのは初めてだった。今日の閉校式には妻も出席したいと言っていたのですが。」「とおっしゃってくださいました。

たった一言の短い言葉ですが、周りの人のことに気付き、素直にその人を思いやる気持ちをもつことができる子供が育っていることをとても嬉しく思いました。「心が育つ」とは、きっとこのようなことをいうのだと思います。本校の子供たちは、地域の方々のたくさん愛情を受けて、素直な心が育まれてきたのだと感じました。

翌日の熊日新聞に子供たちが閉校式で校歌を歌う写真が掲載されました。一生懸命歌う子供たちの姿をみて、「感動しました」と言ってくれた来賓もいらっしゃいました。歌う姿には、二十五名の子供たち一人一人の心が込められていたのだと思います。

鏡小へ引き継がれる想い

本校の歴史を統合後も伝えるために、閉校にあたって下のようなパネルを製作して、鏡小学校の校長室に掲示していただきました。このパネルは、閉校式の際に会場に展示したものです。鏡西部小の校舎と校地、校旗の写真、校歌、沿革史及び歴代校長の写真等を掲載しています。

また、鏡小に行った子供たちの目に触れるように、鏡西部小コーナーを玄関に設けていただきました。ホールにあった校歌の額や写真を展示しています。四月からも、西部小の想いが、子供たちを見守ってくれますよう。

